

令和4年度事業報告書

〔1〕 学術講演会・研究会および講習会等の開催事業（公益目的事業1）

1. 学術講演会の開催

- ・第118回日本食品衛生学会学術講演会を下記のとおり行った。

開催日 令和4年11月10日～11月11日

場 所 出島メッセ長崎

一般演題発表

一般発表 138題（1題取下げ）

口頭発表 16題

ポスター発表 97題（1題取下げ）

受賞者講演 5題（学会賞1、学術貢献賞2件、奨励賞1件）

公開シンポジウム 4題

特別講演 2題

創立60周年記念公演 3題

講演要旨集発行部数 800部

参加者数 約600名（内有料参加者364名）

2. 特別シンポジウムの開催

- 2-1 第25回特別シンポジウムを下記のとおり行った。

開催日 令和5年2月14日（火） 13:00～16:00

場 所 中央区日本橋公会堂

テーマ：「変化」する食品衛生の最新動向

- 1. 微生物学的な観点から考える酒類の品質と安全性

高橋 正之（酒類総合研究所）

- 2. ネオジム同位体比を利用した水産物の新しい産地判別法

田中健太郎（東京都市大学）

- 3. フードチェーンとフードテック 一色 賢司（日本食品分析センター）

- 4. 培養肉研究の最前線 竹内 昌治（東京大学大学院）

参加者数 59名

2-2 ブロックイベント

- ・関東ブロックイベント（公開セミナー）

公益社団法人日本食品衛生学会ブロックイベント

食品に関するリスクコミュニケーション： 残留農薬のリスク管理の動向と食品安全を支える微生物検査

共同主催 厚生労働省、公益社団法人日本食品衛生協会 公益社団法人日本食品衛生学会

開催日時 令和4年6月6日 13:00~16:15

開催場所 中央区立日本橋公会堂・ハイブリット Zoom ウェビナー

講演内容

1. 「食品安全委員会が行う残留農薬のリスク評価」
浅野 哲 (食品安全委員会)
2. 「残留農薬の規制や最新の情報」
富田耕太郎 (厚生労働省 残留農薬等基準室)
3. 「残留農薬について：東京都の取り組みと残留実態」
富澤 早苗 (東京都健康安全研究センター)
4. 「食品安全を守るための微生物検査」
木村 凡 (東京海洋大学)

参加者数 約 126 名

参加費 無料

・近畿ブロック公開セミナー

(公社)日本食品衛生学会 西ブロックイベント

食品に関するリスクコミュニケーション：残留農薬のリスク管理の動向とゲノム編集食品

共同主催 厚生労働省、公益社団法人日本食品衛生協会 公益社団法人日本食品衛生学会

開催日時 令和4年12月2日(金) 13時~17時

開催場所 立命館大学びわこ・くさつキャンパス (ハイブリット Zoom ウェビナー)

講演内容

1. 「レギュラトリーサイエンスと食品中の有害物質のリスク管理」
堤 智昭 (国立医薬品食品衛生研究所 食品部)
2. 「食品中の残留農薬等の基準値設定について」
三木 真之介 (厚生労働省 残留農薬等基準室)
3. 「神戸検疫所における輸入食品の残留農薬検査について」
木村 実加 (神戸検疫所)
4. 「堺市における残留農薬検査の取り組みについて」
山本 直美 (堺市衛生研究所)
5. 「ゲノム編集食品のリスクコミュニケーション」
小泉 望 (大阪公立大学)

参加者数

対面（会場）35名 オンライン（Zoom）132名

参加費 無料

・近畿ブロック

第5回日本食品衛生学会近畿地区勉強会

開催日 令和5年2月24日（金）

場 所 立命館大学大阪いばらきキャンパス

テーマ 近畿地区の食品衛生関係者の勉強、情報交換並びに学会及び雑誌投稿の勧誘

一般発表 7題

教育講演 2題

食品分析の目的と食品のリスクバランスについて

平原嘉親（摂南大学）

食品化学においてデータサイエンスをどう活用するか

金谷重彦（奈良先端科学技術大学院大学）

参加者数 76名（申込80名）

3. 公開講演会

開催無し、

4. 関連学（協）会との連携および協力

・主催 日本食品衛生学会・日本食品微生物学会・日本食品化学学会

「ifia JAPAN2022 食の安全・科学フォーラム 第22回セミナー&国際シンポジウム」

は下記を開催した。

開催日 令和4年5月18日

場 所 東京ビックサイト

内 容 食品添加物の国際整合性と食品の表示

第一部) 食品添加物の国際整合性（厚労省、添加物協会、海外メーカー）

第二部) 近年の食品表示の動き（農研機構、日大、消費者庁）

参加者数 117名

・関連学会等への共催・協賛・後援

当学会は、関連学会等、の団体に下記のとおり共催・協賛・後援を行った。

共催 なし

協賛 ifia JAPAN 第27回国際食品素材/添加物展・会議（令和4.5.12-14）、

第 49 回日本毒性学会学術年会（令和 4. 6. 30-7. 2）、日本包装学会第 31 回年次大会（令和 4. 07. 21-22）、第 29 回日本免疫毒性学会学術年会（令和 4. 09. 12-13）

後援 第 22 回 国際栄養学会議（令和 4. 12. 6-11）、熱測定オンライン講習会 2022（令和 4. 6. 17、7. 8、8. 5、8. 26、9. 16）、6 大学共催フォーラム第 12 回（令和 5. 3. 9）

〔2〕学会誌等の発行（公益目的事業 2）

- ・学会誌等を下記のとおり発行した。

食品衛生学雑誌（6 冊）	第 63 巻 2 号～6 号	各発行部数	1,950 部
	第 64 巻 1 号	発行部数	1,900 部
食品・食品添加物等規格基準（抄）		発行部数	1,000 部
第 118 回学術講演会要旨集		発行部数	800 部
啓発用のリーフレットの作成		印刷部数	1,000 枚

- ・下記を学会 HP に掲載した。

残留農薬等のデータベース
リスクコミュニケーションの動画

〔3〕研究業績に対する表彰事業（公益目的事業 3）

- ・令和 4 年度日本食品衛生学会賞等授賞式を第 118 回学術講演会において下記の受賞者に対して行った。

「学会賞受賞者」

藤川 浩（東京農工大学（名誉教授））「食品における有害微生物の挙動と汚染に関する数学及び統計学的解析」

「学術貢献賞受賞者」

朝倉 宏（国立医薬品食品衛生研究所）「カンピロバクターの汚染動態と遺伝性状に基づく制御に向けた研究」

石井 里枝（埼玉県衛生研究所）「食品中の残留有害物質の分析法開発と信頼性確保に関する研究」

「奨励賞受賞者」

大場 由実（東京都健康安全研究センター）「畜産および加工品中の抗ウイルス薬をはじめとする動物用医薬品の迅速分析法開発とその応用」

大門 拓実(越谷市保健所)「LC-MS/MS および三層分離抽出技術を用いた食品危害物質の迅速分析法の開発に関する研究」

- ・食品衛生学雑誌第 62 巻論文賞授賞式を第 118 回学術講演会において下記の受賞者に対して行った。

「乳・乳製品の加熱履歴の簡易迅速確認法の確立 <報文>」 第 62 巻第 2 号 p. 44～50 加登麻子¹ 遠藤明仁*¹ 柳澤成江¹ 田中寿一¹ 市川真里² 柴崎鮎美² 川井泰² 増田哲也² ¹農林水産省動物検疫所 ²日本大学

「相対モル感度に基づくシングルリファレンス GC 法および HPLC 法によるカラシ抽出物およびセイヨウワサビ抽出物中のイソチオシアン酸アリルの定量 <報文>」 第 62 巻第 3 号 p. 73～78 増本直子 西崎雄三* 中島馨 杉本直樹 佐藤恭子 国立医薬品食品衛生研究所

「ケーススタディ：ゆでめん製造工場における PDCA サイクルによる微生物の分布と汚染源の特定 <報文>」 第 62 巻第 3 号 p. 79～84 大八木 伸*¹ 盛田隆行¹ 小西良子¹ ¹セツ株式会社 ²東京農業大学

〔4〕若手研究者育成事業（公益目的事業 4）

- ・厚生労働省厚生労働科学研究の若手研究者育成活用事業の補助事業者について、令和 4 年度は 1 名を採用した。

〔5〕その他

- ・令和 4 年度は、コロナ禍の中、メルマガ配信事業は継続したが、集会は企画できなかった。

- ・会員限定メルマガの配信（月 2 回）

〔6〕総会・理事会の開催

- ・令和 4 年度総会を下記のとおり行った。

開催日	令和 4 年 6 月 6 日（月）	午前 11 時～11 時 50 分
場 所	東京都・中央区立日本橋公会堂	ハイブリッド開催
議 案	令和 3 年度事業報告および決算報告・監査報告	

- ・令和 4 年度理事会を下記のとおり行った。

第 1 回理事会

開催日 令和4年4月21日
場 所 WEB開催
報告事項 業務執行状況
議 案 入会者の承認
退会扱い者の承認
令和4年度奨励賞について
令和3年度事業報告案および決算報告案および監査報告
令和4年度通常総会招集通知について
令和4年度総会招集通知について
令和4年度総会及び表彰式
令和5年度学会賞等選考委員会委員の選出
学会活性化委員会委員の交代

第2回理事会

開催日 令和4年10月21日
場 所 WEB会議
報告事項 業務執行状況
議 案 入会者の承認
事務局負担軽減を目的とした日本食品衛生学会ホームページ改修について
メルマガの発行回数変更と令和5～6年度委員の選出について
購読会員細則の承認について
特定準備金の積立てについて
学術講演会等のアルバイトに対する労働条件通知について
令和5年度総会の開催について

第3回理事会

開催日 令和5年3月3日
場 所 食品衛生センター会議室およびWEB会議
報告事項 業務執行状況
議 案 入会者の承認
令和5年度学会賞等受賞者について
第63巻食品衛生学雑誌論文賞について
令和5年度事業計画案、予算案および資金調達及び施設投資の見込みについて
令和5～6年度メルマガ編集委員の選出
事務所転移について
事務局体制の今後と予算案について

第4回理事会（書面）

開催日 令和5年3月29日
議案 給与および旅費規程
育児・介護休業等に関する規則
就業規則

令和4年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規則する附属明細書「事業報告に内容を補足する重要な事項」は存在しない。